

こころのままに

～Follow your heart～



氣づきを学びに変える

風も軽やかに花の香がたちこめる季節となりました。会員の皆様におかれましては日頃の協会へのご理解、ご協力、誠にありがとうございます。

この4月をもちまして協会は4度目の春を迎えることとなりました。立ち上げと同時期に始まったコロナによるさまざまな制約のある中、ご自身の講座をはじめ、各地での作品展への作品提出・体験会や出張授業のお手伝いなど皆様のご協力で協会は礎を築いてまいりました。

この春からはコロナ感染症法への位置付けの変更やマスク着用への考え方の見直しに伴い、新たな生活がスタートします。自身を守り、そして大切な人たちを守るため、今後も適切な対応をお願いいたします。

さて皆様もWBCに釘付けの日々を過ごされたことと思います。素晴らしい結果に未だ興奮冷めやらぬですね。世界中に野球のレベルだけではなく、日本人気質の素晴らしさを知らしめた彼らにはまさに「侍の血」が流れていると感じました。

なかでも大谷翔平選手の発する言葉には二十代の若者とは思えないような説得力と安心感がありました。

「成功するか失敗するか僕には関係ない、やってみるの方が大事」「できなかった事ができるようになるのが楽しい」「壁を乗り越えるきっかけは技術、だから技術を磨く」この言葉には野球だけではなく、私たち書画にも通じるところがあり心に響きました。

そんな偉業を成し遂げた大谷選手のこだわりは「睡眠の質と量」だそうです。

こだわりとは、もともと「つまらないことに心がとらわれて必要以上に気をつかう」という否定的な意味で使われていましたが、気持ちごとらわれているという意味から「妥協しない」という肯定的な意味に転じて、現在では「追求心や不屈の精神」といった意気込みを表す場面で使われることが多くなったようです。

「こだわりを持つ」ことはプロフェッショナルとして大切なことです。しかしこだわりにも「ゆとり」がないと息苦しくなってしまうがちです。「ゆとり」とは「心に余裕のある状態」を言います。ゆとりがある人とは「周りに優しさを与えられる、視野が広い、いつも穏やかである」状態で「冷静さを保ち、的確な対応ができ、常に自分に何ができるのかを考えられる」「この人がいたら安心だ」と周りから思われる人です。大谷選手は「ゆとり」と「こだわり」のバランスが取れているからこそ、あの素晴らしいパフォーマンスが出来たのだと思います。

私たちも書画に携わる上で「ゆとりのあるこだわり」を意識していくことが大切ですね。

おめでとうございます。 第3期アシストメンバー

若林優希さん
雅号：ゆふ（ゆう）
愛知県名古屋市在住



会員みなさま、初めまして。
新しくアシストメンバーになりました若林優希と申します。

雅号は「ゆふ」と書いて「ゆう」と読みます。

漢字を探すと、優・結・勇・遊などすてきなものが沢山ありますが、あえて平仮名にしてみました。

平日は専門商社で営業の仕事をしています。食生活、旅行すること、遊園地に行くこと、絵を描くことが大好きです。

これから、たくさんの作品を作ることはもちろん、イベント等に参加し、書くことの楽しさを伝えられたらと思っています。どうぞよろしく願いいたします。

奨励賞
羽新先生

スキルアップ講習を開催しました

2日間のスキルアップ講習を経て、改めて基礎から、文字のメリハリや全体のレイアウトなど筆使いや文字の配置方法を学ぶことができました。

また、色相やきれいなグラデーションの作り方、パステルを用いた表現方法などさまざまな表現方法や色の基礎も学ぶことができ、とても勉強になりました。たくさんの作品を短期間で作成する中でまだまだ奥が深い世界だとしみじみ実感し、合格がゴールではないと知れる充実した2日間でした。

ゆふさんおめでとうございます。

元気と笑顔がすてきな新アシストメンバーが誕生し大変嬉しく思っています。

これから一緒に協会を盛り上げていきましょう。

西尾志乃舞



東京海上日動火災保険株式会社

2月16日（木）東京海上日動火災保険株式会社にて開催された、第1回きら☆キャリア愛知「きらきら輝く女性のキャリアアップ応援」セミナーにこころの書の体験を取り入れていただきました。

以前に東京海上日動火災保険株式会社の社内福利厚生として、8名の方々が本部に体験されたことがきっかけでした。



岡山県教職員組合玉野支部

「年賀状講座」



志乃先生が岡山県にて

「こころの書年賀状講座」を開催されました。

小中学校の教職員の方々を対象で、授業が終わったあとの勉強会での体験会でした。書くことへの集中のこころよさ、筆文化、手描きの良さや大切さをお伝えしてきてくださいました。

「きら☆キャリア愛知」とは、東京海上日動火災保険株式会社が取引先であるディーラーにお勤めの女性社員を対象としたキャリアアップセミナーです。

ディーラー社員のみなさんは、お客様にご来場のお礼状やPOPを書かれることがあり、手描きの温もりや印象に残る心のもったお手紙やPOPに「こころの書」はぴったりということ、日頃お仕事や家事などで忙しく働く彼女たちに、ぜひこういう機会に触れていただくことが大切だということで、志乃先生に実践を兼ねた講演会の依頼をいただきました。

当日は30名ほどのディーラー女子社員が、より輝いて仕事も家事もこなすステキな女性へのキャリアアップをディスカッションや体験談を通して勉強されていました。

そして最終仕上げに「こころの書」の体験です。

「感謝」「ありがとう」を書いていただいたのですが、みなさんキャリアウーマン揃い、さすがの書きっぷりでした。

勢いがあり大胆、それでいて繊細、現代の女性像が作品に顕れています。

時間は短かったのですが「描きたい!!」気持ちがひしひしと伝わってくる体験会でした。

企業のはからいでその日使った筆ペンをお持ち帰りになったみなさん。

きっと日々の中でお礼書きに、POP 描きにご活用されていることと思います。



創作課題 提出作品

今回のテーマ

- 「グリーン」
- 「しっとり」
- 「五角形」
- 「ひらく」

グリーン



勝海幸子
「竹」



太田力
「グリーンエア」



後藤佳子
「くるりん」



鈴木知子
「みつけた」



鈴木恵美子
「五月の翠」



益田記代
「森林浴」



後藤佳子
「わさび」



西尾志乃舞
「癒し」



太田力
「見たまま」



横地かよ子
「元気もらってます」



後藤佳子
「おすそわけ」



高橋 翰
「心躍る」



田端美佳
「感謝の気持ち」



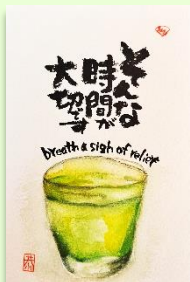
鈴木恵美子
「若葉そよぐ」



北原志桜
「ナミアゲハ」



いへげん
「新芽」



吉田 恭子
「休息」



椿野純治
「ナイスショット」



心仙
「庭の草から1輪 芽が出て来ました」



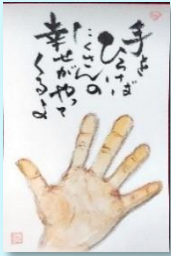
中嶋 圭子
「メンバーカラー」
愛知県岡崎市が舞台となる大河ドラマ「どうする家康」よりも有名なYouTuber 東海オンエア。



心仙
「竹筒ようかん」
昔よく穴をあけて食べた思い出。

3年前の競技会（ミッドシニア）を思い出して描いてみた。（コロナで競技会には出場していませんでした）

ひく



益田記代
「掌」



太田力
「しーたん」



水石直子
「蔵開き」



勝海幸子
「まごの笑顔に
癒される」



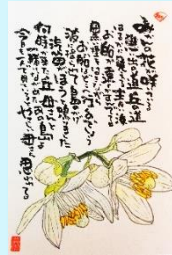
横地かよ子
「母の日
プレゼント」



心仙
「グーチョキパーで
ひらく」



岡本ちか子
「宝箱」

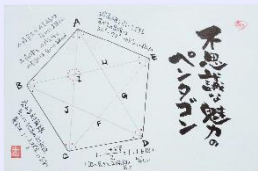


吉田恭子
「色んなことを
のりこえて」



ひらく・五角形・グリーン
西尾志乃舞
「桜」

五角形



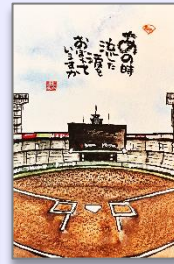
西尾志乃舞
「黄金比」



いへげん
「キラキラ」



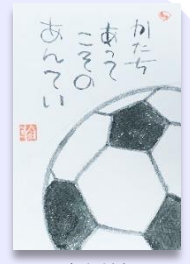
益田記代
「絵馬」



吉田恭子
「心を揺さぶる涙」



椿野純治
「将棋駒」
天才藤井聡太君の
八冠達成に期待



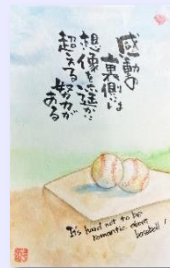
高橋翰
「素晴らしき
32 面体」

会報が届く季節に合ったすてきな作品がたくさん届きました。

「なるほどそうきましたか！(笑)」とワクワク。単に何かをみて描写するのではなく、ハガキや色紙という枠内に如何に考えを纏め取り込み、自分なりのねらいを持って課題から感じたものを表現し、創作というスキルをぜひ身につけていただきたい会報課題。

柔らかい頭で書画を楽しむために普段からの観察力、発想力、センスを磨くことを意識してくださいね。

西尾志乃舞



岡本ちか子
「感動と努力」



水石直子
「おくら」



心仙
「柿」

豊橋の次郎柿で五角形をしていて完熟しても木から落ちない事から合格の柿と言われるそうです。

しっとり



太田力
「だじゃれ DE
ごめん」



高橋翰
「ロングセラー」



吉田恭子
「森を湿らす雨」



心仙
「しっとり」



西尾志乃舞
「明日はデート」

小学校出張授業

1/20(金)	大治西小学校	3クラス
1/24(火)	甚目寺東小学校	3クラス
3/2(木)	大藤小学校	1クラス
3/10(金)	市江小学校	1クラス

参加書画師

志乃先生・榮春先生
 我妻健一・岡本比子・鈴木知子・鈴木伸枝・植野純治
 中嶋圭子・長屋月優・吉田恭子（敬称略・五十音順）



先生から感想をいただきました

子どもたちの満足度がとても高く、や
 って良かった！お願いして良かった！
 と思いました。

“楽しかった”というのが私も一番の
 感想です。

習字ではなくアートだと思うと、新し
 い発見があると同時に、習字に通じる
 部分もたくさんあり、良かったです。
 ありがとうございました。



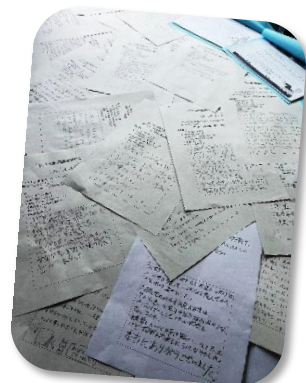
大治西小では参加書画師ひとりひとりの
 名札を、事前に用意していただきました。
 ※大治西小は書画師の鈴木知子先生が勤
 務されています。



今年度も多くの学校に足を運ぶこととなりました。
 お手伝いいただいたみなさま、ありがとうございました。
 学校訪問は私たちには毎年の恒例行事であっても、子どもたちにとっては初めての体験。
 授業すべてが、一期一会の出会いの場なのです。
 学校では書写の授業はありますが、使用するのは書道筆です。筆ペンを持つのは初めてという子
 どもが多く「こころの書」の授業初めに受け取る志乃先生のお手本に圧倒され、緊張をする子ども
 は少なくありません。
 その緊張をほぐし、自由にのびのびと作品を仕上げてもらう手引きをするのが、書画師やアシスト
 メンバーの務めです。

子どもたちは「不安だったけれど、上手に書けた！楽しかった！」などと感想を寄せてくれまし
 した。この感想が対応した先生方の全てを物語ってくれています。
 普段講座を開催される先生方はアンケートを取られることはないかもしれませんが、この感想は
 年齢を問わず共通するものではないでしょうか。

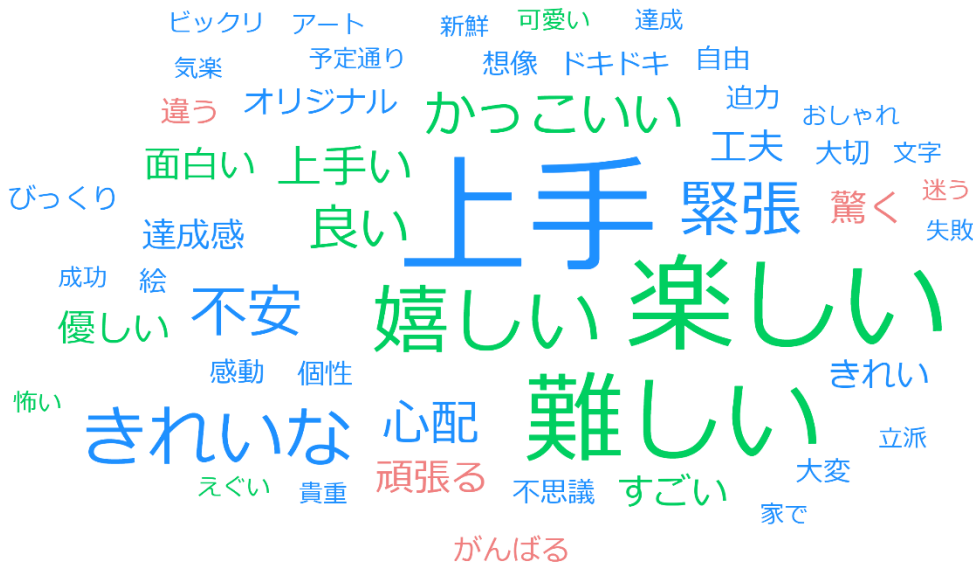
これからも一期一会を大切に、活動を続けていきたいと思います。



「コエ」を知る！

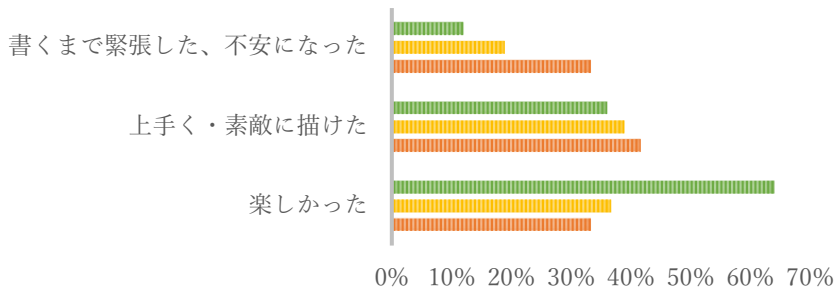
子どもたちへのアンケートには
こんな質問が書かれています

「こころの書」の授業を受けて、作品を描いてみて
どういった気持ちになりましたか？
思ったことを自由に書いてください



小学校 アンケート結果

■市江小学校 ■大治西小 ■大藤小学校



嬉しかった！

- ・教えてもらっている最中に評価をくださったおかげでモチベーションが上がりますごく嬉しかったです。
- ・出来上がったものに対して「上手だね」と言ってもらえてとても嬉しかった。
- ・志乃先生がいい言葉だねって言ってくれたときとてもいい気持ちになった。



感動した！

- ・色紙を書くときにめっちゃめっちゃ緊張したけれど、終わりにには達成感が出て良かった。
- ・「こころの書」を書いてから自分が選んだその1文字をもっと大切にしようと思った。
- ・「こころの書」の授業の後、文字がうまく書けるようになりました。
- ・作品が完成したとき、緊張から解かれて気持ちたちが楽になった。
- ・作品が完成したとき、本当にこれを自分が書いたなんて思えなくて、ちょっと感動した。

楽しかった！

- ・「これは文字ではなく絵」「こころの書に失敗はない」という言葉が心に残りました。
- ・「書くときはきちんときれいな文字を書かなければいけない」と決めつけていたけれど、すごく自由で、自分の思っていることが映し出せるものなんだなと思いました。
- ・集中して書くより楽しみながら書いたほうが上手く書けた。
- ・元から字が汚いのでいい感じだった。

CHILDREN VOICE



昨年から足助交流館で講座を始めました。
そのご縁で交流館の方から「2月におひなさまの作品展示と体験会をしませんか？」と声を掛けていただき、生徒さんの作品展示（2/1～2/28）と体験会（2/19）を開催しました。

本部に相談したところ、お手伝いの先生は募集していただけることになり、体験会のお題は志乃先生にお願いをしました。

当日は朝から雨が降り、気温も低く「体験参加者の来場がなかったらお手伝いに来ていただいた先生方に申し訳ない」と思っていました。そんな中、伸枝先生の生徒さんが体験会に参加され会場をにぎやかにしてくださいました。そのおかげか、それから徐々に参加される方が増えていきました。

お子さま向けに「おひなさまのマジックカード」も用意し、楽しんでいただくことができました。

反省点や課題は多々ありますが、体験会を開催できて良かったです。遠方からお手伝いに来ていただいた先生方、ありがとうございました。

中嶋圭子



創作課題募集要項

感動を生む文字と絵のマリアージュ
新たな可能性
柔軟な発想

創作課題は、皆さんの発想や技術がお題作りのヒントになって欲しいなと思い毎号募集しております。
今回のテーマは次号発行8月に掲載の作品となりますので、8月～11月・夏～晩秋辺りのイメージで作品を作ってくださいね。

円すい

火恋し

輝き

群青

上記の4つの語句からイメージする絵や言葉で自由に作品作りをしてみましょう。

注意点 「バランス」「筆圧の強弱」「レイアウト」「オリジナル」「美しく」「かわいらしく」

☆ハガキでも色紙でも何でもOK

作品はスキャンしたものをJPGまたはJPEG形式で添付してください。



☆次回会報に掲載します！

☆メールでの提出をお願いいたします。

メールの件名に「創作作品・〇期 氏名」、メールの本文に「テーマ・タイトル・作品への想い(任意)」を入力し、作品の写真を添付して送信してください。

締め切り：7月20日(木)

提出先メールアドレス：kokoro@s-shoga.or.jp



今回は、1期の羽新書画教室の渡辺貴久子(通称・ハニィ)先生をご紹介します。
キノコと猫をこよなく愛するハニィ先生。もちろんお題にも、キノコや猫が多めに登場するそうです。

教室はリラックスして作品が描けるように、BGMにもこだわり、さまざまなジャンルから、生徒さんが楽しめる曲を厳選して流されています。

また、レッスンだけではなく商品パッケージのデザインやお祝い色紙なども多岐にわたって手がけられています。

そして、希望される方にはレッスン時にお食事も提供されています。

週末にはハニィ・スパイスlaboという薬膳カレー教室を開講。

うらやましいほど多才なハニィ先生。

講座を開催するにあたり、気をつけてみえることなどをうかがってみました。

羽新書画教室

愛知県瀬戸市陶本町
名鉄瀬戸線
「尾張瀬戸駅」下車
徒歩6分



鈴木知子(知子): 講座は何箇所で行われていますか?

ハニィ: 3箇所で行っています(瀬戸の自宅・名古屋・小牧)。

知子: 生徒さんの年齢層もさまざまかと思えます。お題を作る際、気をつけていることなどを教えてください。

ハニィ: 年齢層は特に気にせず、私が描きたいお題、教室カラーの出るお題を心がけていますが、生徒さんの力量は気にかけております。級の高い方や、すでにライセンスのある生徒さんには、それなりにやりがいの持てる難易度のあるお題を考え、アレンジもどんどんしてもらっています。

知子: 講座を開催してのひと言をお願いします。

ハニィ: 常に挑戦する意欲的な生徒さんが多いため、「のほほん」とした私のお尻を叩いてくれるありがたい存在です。生徒さんと一緒に私自身も成長していきたいと思っています。

こんなに大きくなりました



She's such a big girl now.



書画師の田端美佳先生が愛娘「稜菜(りょうな)ちゃん」を連れて本部にいらっやいました! 志乃先生や榮春先生に抱っこされてドキドキ。これからの成長を皆で温かく見守っていきましょう。

未永くお幸せに

Happily ever after.



書画師の川野勝清(ルパン)先生が結婚式を挙げられました! すてきなお写真をいただきましたのでお披露目です。これからは2人で歩む人生、幸せな年月を重ねていってくださいね♡

暮らしの豆知識 ①

皆様も季節の花や草木を作品に描かれると思います。今回は趣向を変えて「花(あじさい)」についての豆知識です。

新緑の眩しい季節となりました。そんな草木や花の生えている土には、酸性とアルカリ性があります。日本の土は酸性が強くやわらかいのが特徴です。

紫陽花(あじさい)は酸性だと青色、アルカリ性だとピンク色になります。酸性の土にピンク色の紫陽花を植えたい時は、土に石灰を混ぜてアルカリ性にします。石灰がない時は卵の殻をパウダー状にしてまいてアルカリ性にします。卵の殻は肥料の役割もあるそうです。生えている雑草で土の状態がわかります。ハコベ、オオイヌフグリ、カラスノエンドウ、ツユクサ、ホトケノザが生えている土は良い土です。

ドクダミ、スギナ、シロツメクサ、ヨモギの生えている土は栄養不足です。そう考えると田んぼや畑のあぜ道にはハコベやオオイヌフグリが生えてますね。栄養がある土ということですね。

ちょっとした豆知識があると生徒さんとのコミュニケーションになります。役立てていただけたら嬉しいです。



ご応募ありがとうございました。華やかですてきな色使いや発想は、学びになります。最優秀賞は4月20日(木)にホームページにて発表いたしました。



ぜひ左記の QR コードよりご確認ください。



何色にしようかなあ…。塗っている時はとても楽しい時間でした。
おゆきさん 50代



とても楽しかったです。何色にしようか、とても難しかったです。 かずちゃんさん 80代



とても楽しい時間を過ごせました。ずっと続けてくださる事を願っています。 てっちゃんさん 50代



コピックでアニメ風に仕上げました。着物の色を考えるのが楽しかったです。
蝶子さん 40代



80過ぎてこころの書といい師に出会っていい人生になりました。これからも元気で描き続けたいと思います。
朴甲順(パクカップスン)さん 80代



縞を描いてて混乱しました。楽しかったです。友達のを見て、十人十色だなあと思いました。 杉本夏江さん 70代



季節感の出るような色合わせが難しかった。元気の出るような色を使って仕上げました！楽しかったです。
真代さん 70代



着たい着物をイメージして塗りました。得に帯が気に入っています。
ちびさん 30代



カッコよく粋な着物に憧れるお年頃です。和の色にこだわって顔彩で塗りました。
のんべえさん 50代



初めてぬり絵をして
楽しかったです。 土屋幸子さん



私の母は大正生まれで、着物が好きでした。母の着物の色合いにしてみました。帯がちょっと失敗してしまいましたが、楽しくできました。

勝海幸子さん 70代



浮世絵のきまりや当時の色や柄の流行を調べたり小物で遊んだりして、楽しいひとときでした。久しぶりの浮世絵でしたが又楽しみたいと思います。

町田和子さん 60代



細かい柄を考えるのが楽しかった。
ことみさん 20代



1年の感謝を伝え初春を迎える前のお酉さまに行くときに着て行きたい着物をイメージして、楽しく塗り絵をすることが出来ました。

北原志桜さん 60代



久しぶりのぬり絵は楽しかった。色の組み合わせと何も無いところに模様を付けるところが難しく思いました。

鈴木恵美子さん 70代



緑色が好きなので緑の着物にしました。
色合わせが楽しかったです。

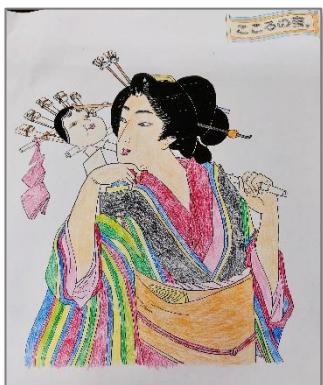
けっけさん 50代



やっとコロナの規制が軽減されましたが、まだまだ完全に自由に外出するには勇気が必要です。浮世絵フウぬり絵はとっても楽しく参加させていただきました。

爽やかなしモン柄の着物を描く時が一番楽しく感じました。

タルトさん 30代



タキコさん 60代



久しぶりのぬり絵でしたが、集中して取り組みました！

やっぱり集中できる時間は幸せですね！ 長屋月優さん 40代

志乃先生の文字がラベルになりました

とても希少なウズベキスタン産のハチミツ「アクライ蜂蜜」を使用した蜂蜜酒、「アクライミード」のラベルに志乃先生の文字が採用されました！



ウズベキスタンの一部でしか採れない蜂蜜が日本の秩父へ運ばれ、綺麗な水と日本酒の酵母で醸造されているそうです。大人のデザートと言われる「アクライミード」詳しくは右記のQRコードへアクセスしてください。



志乃先生が屋号を描かれました!!

歴史とアートが薫る美しい白壁の景観が楽しめる岡山県倉敷美観地区に、志乃先生が屋号を描かれた日本料理店が4月12日(水)の大安吉日にオープンしました。



日本料理
「和ふ(あまなう) 月よみ(つくよみ)」
住所：岡山県倉敷市阿知 2丁目22-3 奈良萬小路

お近くへお越しの方はぜひお立ち寄りください。

新聞に掲載されました



古川さんの作品が2月18日(土)の中日新聞夕刊の「ほのぼのの絵手紙コーナー」に掲載されました!!

ご協力ありがとうございました

志乃書画協会では新型コロナ緊急事態宣言発令中、予防対策強化のため A2Care を支給し予防策を講じたうえで講座を開講し、報告書のご協力をお願いしてきました。

政府のコロナ感染防止対策緩和に伴いまして、令和5年3月末をもちまして報告書提出のお願いを終了いたしました。長きにわたり、ご協力ありがとうございました。

引き続き講座開催等におきましては、感染防止に努めていただきますようお願い申し上げます。

A2Care がご入用の書画師は本部まで申し付けください。在庫の限りお分けします。

本部日程

	月例 3部制 10:30~12:30 14:00~16:00 18:30~20:30 (酔書乃会)	志乃先生 講座 10:30~16:30 1~3 講座
5月	11日(木)	18日(木)・21日(日) 31日(水)
6月	4日(日)	15日(木)・29日(木) 18日(日) 浮世絵講座
7月	5日(水)	13日(木)・23日(日)
8月	22日(火)	2日(水)・17日(木) 26日(土) 浮世絵講座

※講座の日程は変更になる場合があります。

その他の日程

❖第9期書画師・第5期アシストメンバー

認定試験 10:00~17:00

名古屋本部：5月20日(土)

❖スキルアップ講習

名古屋本部：5月28日(日)・6月4日(日)

※月例講座と
同時開催

☆A2Care 報告書の集計

12月 219名 / 1月 187名 / 2月 163名 / 3月 196名

☆本部作業日：12月 8. 15. 21日 / 1月 11. 15. 22日 / 2月 2. 9. 17. 18. 26日 / 3月 9. 16. 29日 / 4月 2. 6. 19日

一般社団法人
志乃書画協会®

〒461-0001

名古屋市東区泉一丁目14番3号 HASEGAWA ビル5E

TEL:052-253-5562 FAX:052-253-5182

<https://s-shoga.or.jp> info@s-shoga.or.jp



こころのままに

次号発行

8月20日頃

【会報委員】

鈴木知子・中嶋圭子

【編集】

大野蝶子